

推進委員会NEWS

発行責任者 推進委員長 南部幸博

水道町支店ミニ集会開催!

12月12日、熊本市交通センターホテルにて『水道町支店推進委員会ミニ集会』を開催しました。毎年ご好評いただいているミニ集会ですが、今年度はしあわせ創造運動の一環である多重債務問題を趣旨とし、開催いたしました。

今や消費者金融利用者は1400万人を越えると言われて、そのうち多重債務者予備軍は230万人ともいわれています。また、消費者金融業者の相次ぐ不祥事に加え、「ヤミ金」問題も大きくクローズアップされています。よって、推進委員会では組合員を多重債務から守るため、ろうきん「お金の問題! 気づきキャンペーン」を各会員に周知する活動を進めています。

講演では、多重債務に陥る人の深層心理を解明するという趣旨から、心理カウンセラーの三浦祐子先生に「お金の問題! 気づきキャンペーン~無意識の“人生計画”から見た理解~」と題してご講演頂きました。人は元来心のふれあいを求めて生きており、それが満たされない場合に様々な症状として「甘え」が出ますが、その「甘え」は、幼少時の経験から抑うつ型、精神障害型、薬物依存型にパターン化される、というものでした。中でも多重債務に陥るような人は精神障害型の方が多く、これは幼少時に思考や判断を自分で下すことが希薄であった為、成人後も無気力であったり、自己をコントロールすることに苦しみ、ということでした。参加者の方からは、今後、組合員から多重債務の相談を受けた場合には本人のこういった深層心理も頭に入れて話を聞くことができる、との感想をいただきました。

また、講演終了後に開催した交流会では各会員の日常の活動報告が挙げられる等、良い情報交換の場となりました。

私たち推進委員会は今後も会員の皆様と、しあわせ創造運動の展開を基本に、組合員の皆様の生活向上を目指していく所存です。

推進委員会委員長 南部 幸博



アンケート結果

ミニ集会参加者へアンケートのご協力をいただきましたので、その内容の一部をご紹介します。

Q. 講演について、感想をご自由にお書き下さい。

- A. ・色々分からないことが理論的に説明されるので became になった。
 ・「何故多重債務になるのか?」という観点からみると話の内容に具体的な内容がなかったように思った。どちらかと言えば、現在、小学生の子供さんをお持ちの母親を対象とした内容ではなかったか?
 ・日々発している言葉が、言い方によって変わることに気づかされた。
 ・何故多重債務になるのか、どう対応すべきかは、心理学の話聞くより、もっと具体的な話を聞きたかった。

皆様からいただいたご意見は今後の活動に役立てていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

「気づきのキャンペーン」取組み報告!!
~ JAM 金剛労組執行委員会 ~

12月17日、執行委員会を開催し、佐藤係長より「気づきのキャンペーン」について説明を受けました。その中で、このキャンペーンの取組み趣旨や、多重債務未然防止のための具体的な活動を確認することができました。

また当労組では、組合員の生活向上のためだけでなく、「ろうきんの活用」を組合加入のメリットとして、組織拡大にも役立てて行こうと考えています。今後も「気づきキャンペーン」を展開することで組織拡大とろうきんの普及につなげていきたいと思っております。

(浜田書記長より)

12月の取組み会員

NTT桜町三分会、JPU熊本中央支部、
全郵政熊飽支部、全産交労組、県職コース部